



こんにちは

村田 けい子 です

2017
9.22
№ 120

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

【6月議会の全員協議会への報告から】

「ポプラの伐採はやめ、移植することにします」町の方針が示される。

3,000名を超す署名を集めたポプラを守る会のみなさんの気持ちを受け止めて「ポプラの伐採は中止し、移植することにする」との方針です。移植の際には、「3分の1に丈を詰め、二股に分かれたポプラなどは枝を伐採する」とのことです。移植して道路拡張はこのまま進めるという報告にびっくり。

「ポプラを守りたい」と願っている皆さんは、どうお考えになるでしょうか。移植には1本につき、400万円の町費がかかるということですが、予算の範囲でこの工事もできる予想との報告です。

私は、ポプラを回避しての歩道の設置を願っていましたので、どう考えてよいのか、戸惑っています。

そもそも今年の夏、平成4年度の卒業生から「記念樹なので切らないでほしい」という要望が寄せられたときに、設計の変更を行って行けば、伐採や移植も必要ないわけで、対応のまずさがこうした結果を生み出しています。またこの事態をきっかけに「果たして小学校線の拡幅が必要なのか」という根本的な議論にも発展しています。

「児童の交通が危険になる」というのが拡幅工事の理由ならば、時間帯による進入禁止（現在は『通学時間の通行は出来るだけご遠慮ください』というものだそうです）を強化すれば済むことではないでしょうか。拡幅すればそれだけ、交通量が増して危険が増すだけです。

だから「歩道の設置が必要」との議論も、よく考えてみれば、時間帯による進入禁止を強化すれば、子どもたちものびのびと帰ることもできます。巨費を投じての道路拡張や歩道設置よりずっと安全ではないでしょうか。

皆さんは、どうお考えでしょうか。

明日、22日、議会全員協議会が急きょ開かれ、「移植費用が全額町費となっても、予算の範囲で事業が行える」問題について、担当から報告があり、質疑できるようになっています。その結果を来週号でお知らせします。



運動会を見守るポプラ



真田の赤糸緞おとし見参！
無法な狼藉は許さぬ！(茂田井)



収穫の時節

今週のパチリ

大型台風18号の通過に気をもんだ週末、黄金色の田の稲刈が始まりました。今年の収量は平年並みだとのことですが、三角に稲束を立ててある風景や稲穂の波に、日本は「瑞穂の国」という表現が胸に落ちます。

豊かな国土と知恵や努力を惜しまない国民性が、おいしいお米を育てました。コメを輸入し、コメ作りの意欲を削ぐ「ノー政」。早く転換したいものです。

茂田井の田んぼには、真田の武将でしょうか、赤糸緞の鎧を着て六文銭の旗竿を持ち、コメをついばもうとする雀らを「ハッシ！」とにらみつけている頼もしい武将がいます。ちゃんと采配も持ち、兜には六文銭も縫い付けてあります。

キラキラ光る円盤もついていて、なかなか睨みを聞かせています。

我が家の庭には、ほうずきが朱の実をいくつもつけています。収穫の秋ですね。



赤い宝石



表彰状を送られる百寿のSさん。矍鑠(かくしゃく)としていらっしやいました。いつまでもお元気で。

敬老の日 おめでとうございます。

- ・百寿 (100歳以上) 県内+2,130人/昨年
- ・百寿 町内では 6人
- ・白寿(99才) 5人 米寿(88才) 62人

町内では70歳以上の方は
1,059人 全人口の34.7% です。

銭太鼓・ときわ会のみなさん



保育園年長組さんによるソーラン節、パワー全開！元気いっぱい！

たてしな民謡クラブのみなさん



民生児童委員さんによる「白雪姫～あれから40年」



「私を毒リンゴで殺そうとしたお妃、義理の母も、オレオレ詐欺で宝物を全部取られたんだって、いい気味、イエお気の毒よね～」と老化を嘆きながら、オレオレ詐欺への注意を促す寸劇。ホントに楽しませてもらいました。

盛り立ててくださったみなさん、お疲れ様でした。



騎馬戦



9月16日



笠取峠の松並木の成り立ちなどを組み体操で表現した。

台風18号が接近する中で大急ぎですべての種目をやり切った立小の運動会、どの子ども生き生きと最後まで手を抜くことなく、懸命に取り組んでいました。とても感動的でした。仲間と協力し合いながら一つのことをやり遂げる中で、信頼を培い、連帯感が養われるのだと思います。皆さん、素晴らしかったですよ。



来年待つてるよ。年長さん！